様式第13号（要領第４条第３項関係）

ひょうご推奨ブランド農産物生産計画書

1　申請生産集団

※認証番号	生産集団名＊	代表者職氏名	所在地
問い合わせ先	所属・部署名	担当者職氏名	連絡先TEL/FAX
主な活動状況			

＊新規申請の場合は、生産集団の規約（法人の場合は定款の写し）などの組織の概要がわかるものを添付すること

2　計画概要等

品目名	生産予定面積(a)	生産者数（人）	前回認定の生産計画と実績を踏まえて今回計画で工夫した内容等

3　確認責任者＊（「米」申請の場合は、精米責任者、精米確認者も記入）

所属・部署名	所在地	確認責任者職氏名	連絡先TEL/FAX

4　確認責任者による認証要件確認内容

品目名	栽培管理記録の管理状況・確認時期	講習会等の開催状況（日付･場所･参加者等）

様式第13号（要領第４条第３項関係）

ひょうご推奨ブランド農産物生産計画書

５　生産者台帳

品 目 名	生　産　者		栽培責任者	ほ　場　所　在　地 ＊1 (または市町・地区名、筆数)	栽培面積 (a)	周囲からの農薬飛来に対する措置等＊2
	№	氏　名				
品目計						

＊１　ほ場周辺図については栽培記録とともに確認責任者が管理確認すること

＊２　措置状況は「周縁部に幅○mの緩衝帯を設置」「団地化による他品目等との混在回避」「施設栽培により遮断」「看板等を設置し注意喚起」等を記載すること

＊３　３年間に作付け予定のほ場を記入してもかまいません

様式第13号（要領第４条第３項関係）

ひょうご推奨ブランド農産物生産計画書

6　作型＊1

品目名（品種名＊2）	４月＊3			５月			６月			７月			８月			９月			１０月			１１月			１２月			１月			２月			３月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

＊1　施設栽培等で、同一品目・品種を連続して作付する場合や他品目との輪作を行う場合はその品目を含め、その代表的な作型を記載すること

＊2　品種名は、必要に応じて記載すること

＊3　原則、播種時期を開始月（最左欄）とし、主要作業のうち、播種を●、定植を▲、収穫期間を■で表示すること

7　出荷計画

品目名	販売先	出荷予定数量(kg)	出荷時期＊1
品目計＊2			

＊1　出荷時期は、「○○月～○○月」や「周年出荷」などを記載すること

＊2　品目毎に出荷予定数量の合計をいれること

8　表示方法の概要

品目名	農産物への認証マークの表示方法＊1	認証マークの加工食品での表示＊2		認証マーク及び認証マークを印刷済み資材の管理状況（加工食品での表示を含む）	不適合品の処理方法
		有無	表示方法(有の場合)		

＊1　表示方法は、「出荷袋に認**証**マークを貼付する」「認**証**マークを印刷済みの出荷箱、出荷袋、出荷帯で表示する」等を記載すること

＊2　加工食品への認**証**マークの貼付は、主たる原料としてひょうご推奨ブランド農産物を使用し、「ひょうご推奨ブランドの○○（農産物名）を使用している」旨も合わせて表示する場合に限る。

様式第13号（要領第４条第３項関係）

ひょうご推奨ブランド農産物生産計画書

９　化学肥料削減技術等の導入計画

＜ひょうご推奨ブランド農産物の堆肥等施用による土づくり体系＞

施用時期(月旬)	導入技術名＊	資材名	使用量(kg/10a)	入手方法	備考

＊　導入技術名は次の選択技術名から記載すること

①堆肥等有機質資材投入技術／②緑肥作物利用技術

＜地域慣行＊1の施肥体系＞

生産方式等別：

施用時期(月旬)	肥料の名称＊3			使用量(kg/10a)	窒素成分量＊3(kg/10a)	導入技術(下記＊４より番号選択)	肥料の名称＊3			使用量(kg/10a)	窒素成分量＊3(kg/10a)	備考＊5
	N	P	K				N	P	K			
	(有機Ｎ)				(有機由来)		(有機Ｎ)				(有機由来)	
	計						計					節減割合（　%減）

＊１　兵庫県の地域慣行レベルとして確認されている場合は窒素成分量及び有機由来窒素成分量の合計値のみの記入とすることができる

＊２　生産方式等は「無農薬・無化学肥料」や「露地」と「施設」の別など、明確な違いを設けている場合のみ記載すること（以下同様）

＊３　有機質肥料の場合は、有機Nの割合、有機由来の窒素成分量（kg/10a)を下段に（　）書きで記載すること

なお、新たに使用する肥料については、有機由来の窒素成分の割合や原材料がわかる資料を添付すること

＊４　導入技術は次の選択技術から記載すること

①局所施肥技術／②肥効調節型肥料施用技術／③有機質肥料施用技術/④その他技術

＊５　窒素・燐酸・カリの全てにおいて、有機質１００％の肥料を使用する場合は、その旨を備考欄に記載すること。

様式第13号（要領第４条第３項関係）

ひょうご推奨ブランド農産物生産計画書

１０　化学農薬削減技術の導入計画

(連続又は周年栽培の場合は代表的な作型に基づき記載し、季節等により防除体系に違いを設ける場合は、別々の生産方式として記載して下さい)

生産方式等別：

使用時期 (月旬)	対象病害虫 雑草名	＜地域慣行＊1の防除体系＞ 使用農薬名	節減対象 農薬成分 使用回数	＜ひょうご推奨ブランド農産物の防除体系＞ 導入技術 （下記＊２より番号選択）	使用農薬名	希釈倍数 （10a当たりの散布量）	節減対象 農薬成分 使用回数	最終 使用時期 (収穫○○日前)
		回数計				回数計		節減割合 （　%減）

＊１　兵庫県の地域慣行レベルとして確認されている場合は、回数計のみの記入とすることができる

＊２　導入技術は次の選択技術から記載すること

①機械除草技術／②除草用動物利用技術／③ﾏﾙﾁ栽培技術／④抵抗性品種活用技術／⑤ｹｲ酸利用技術／⑥光利用による虫害防除技術／⑦被覆栽培技術／⑧生物農薬等利用技術／⑨熱消毒技術／⑩対抗植物・おとり植物利用技術／ ⑪フェロモン剤利用技術／⑫土壌還元技術／⑬その他技術